



保健通信



2014. 9. 8

筑波大学附属聴覚特別支援学校 保健室

≪ けがの手当て ≫

ふだん起きやすいけがの手当てを知っておきましょう。

あらう

- ・すりきず、切りきず



水で、きず口のよごれを落とす



ひやす

- ・ねんご

(足首などをひねること)、
だぼく
(うちみ)



- ・やけど



おさえる

- ・切りきず

血がたくさん出ている時は、きず口にガーゼなどを当てその上から押さえる



- ・鼻血

鼻をつまんで

少しうつむく

ほねのかたい部分ではなく、その下のやわらかい部分



自分でできる手当てをやってみましょう。

学校でころんだ時は、よごれたところをあらってから保健室へ行きましょう。

みなさんは、^{エーイーディー}AEDを知っていますか？



急に心ぞうが止まってしまう場合のほとんどは、心ぞうが細かくふるえることが原因です。こんな時、心ぞうをふつうのはたらきにもどすためには、電気ショックをかけなければなりません。

^{エーイーディー}AEDは、^{こま}細かくふるえている心ぞうを、電気ショックでふつうのはたらきにもどすための機械です。

^{ふぞくちようかく}附属聴覚特別支援学校の^{しえん}AEDはどこにあるか知っていますか？

保健室前のろうか（ロッカーの上）と、グラウンドの体育管理棟に置いてあります。

^{エーイーディー}AEDを使う場面に出会うことはめったにないと思いますが、家の近所などでAEDが置かれているところを^{たし}確かめておくと思います。